



平成 20 年 10 月 24 日

各 位

会 社 名 日本エスリード株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 荒牧 杉夫
コ ー ド 番 号 8877 東証第一部・大証第一部
問 合 せ 先 取締役経理部長 井上 祐造
(TEL. 06-6345-1880)

平成 21 年 3 月期（連結・個別）業績予想の修正並びに役員報酬の減額に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 5 月 16 日付「平成 20 年 3 月期 決算短信」にて公表いたしました平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）及び通期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

（1）連結業績予想

（単位：百万円）

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	18,500	850	680	250	16 円 20 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	14,665	62	△103	△243	△15 円 80 銭
増 減 額 (B-A)	△3,835	△788	△783	△493	—
増 減 率 (%)	△20.7	△92.7	—	—	—
前年同期実績（平成 19 年 9 月中間期）	20,649	3,507	3,361	1,970	127 円 66 銭

（2）個別業績予想

（単位：百万円）

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	18,000	650	500	150	9 円 72 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	14,041	△105	△277	△340	△22 円 09 銭
増 減 額 (B-A)	△3,959	△755	△777	△490	—
増 減 率 (%)	△22.0	—	—	—	—
前年同期実績（平成 19 年 9 月中間期）	20,109	3,325	3,177	1,865	120 円 88 銭

2. 平成 21 年 3 月期通期の業績予想の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

（1）連結業績予想

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	44,500	3,700	3,400	2,000	129円59銭
今回修正予想（B）	37,000	1,300	800	280	18円14銭
増減額（B－A）	△7,500	△2,400	△2,600	△1,720	△111円45銭
増減率（%）	△16.9	△64.9	△76.5	△86.0	△86円00銭
前期実績（平成 20 年 3 月期）	45,965	6,489	6,212	3,315	214円83銭

（2）個別業績予想

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	43,000	3,300	3,000	1,700	110円15銭
今回修正予想（B）	36,000	970	450	80	5円18銭
増減額（B－A）	△7,000	△2,330	△2,550	△1,620	△104円97銭
増減率（%）	△16.3	△70.6	△85.0	△95.3	△95円30銭
前期実績（平成 20 年 3 月期）	44,708	6,092	5,811	3,084	199円85銭

（1）連結業績予想修正の理由

当社グループの属する不動産業界におきましては、サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱に加え、建築費の高騰や鉄鋼を中心とする原材料価格の高騰、金融機関の不動産案件向け融資審査厳格化による不動産売上の停滞等により、当社グループを取り巻く経営環境は急激に変化いたしております。

このような状況のもと、当第 2 四半期累計期間におきましては、地価・建築費の高騰により事業の収益性が悪化する一方で、当初に計画しておりました想定価格から、発売前に価格を引き下げた販売価格設定を行なったものの、景気の先行き不透明感を背景に購入者の買い控え傾向が顕著となり、販売期間が長期化するなど、期初予想以上に市況が悪化したことにより、引渡戸数が減少し、利益率も低下したことから、誠に遺憾ながら、連結売上高は 146 億 65 百万円、連結営業利益は 62 百万円、連結経常損失は 1 億 3 百万円、連結当期純損失は 2 億 43 百万円となる見込みであります。

また、通期におきましても第 2 四半期累計期間と同様に、この厳しい販売環境のなかでも購入者が無理なく安心な価格で購入して頂き、確実に販売を促進するため、業績予想の前提となった想定価格から、発売前にもうワンランク販売可能な価格に引下げを行なうこと、並びに当初予定しておりました販売計画の先送りがあったことにより、一部物件の引渡が次期へずれ込むことが確実になったことなどから、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表予想を下回る見通しとなりましたので、業績予想を修正いたしました。

（2）個別業績予想修正の理由

個別業績予想数値の修正の理由は、連結業績予想数値の修正の理由と同様の内容であります。

3. 役員報酬の減額について

平成 21 年 3 月期業績予想の修正を真摯に受け止め、経営責任を明確化するために、以下の通り、当社役員報酬の減額を実施いたします。

(1) 取締役報酬減額の内容

代表取締役：月額報酬額の 30%を減額

専務取締役：月額報酬額の 20%を減額

常務取締役：月額報酬額の 15%を減額

取 締 役：月額報酬額の 10%を減額

(2) 対象期間

平成 20 年 11 月から平成 21 年 4 月まで

※本資料記載の業績予想に関しましては、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。今後、様々な要因によって、実際の業績が大きく異なる可能性があります。

以 上